

(仮称)苦小牧市民ホール 市民ワークショップ(2017年 10月 21日開催)報告

<実施概要>

開催日時 : 2017年 10月 21日(土) 14:30~17:00

開催場所 : COCOTOMA ラウンジ

実施内容 :

- ・ 基本構想・基本計画、市民ホールが目指す“サードプレイス”についての説明
- ・ ワークショップ
 - 第一部 新しい市民ホールで行う活動の検討
 - 第二部 その活動ができる場所の検討
- ・ 事業アイデア・サードプレイスの説明パネル展示
- ・ 現市民会館周辺の模型展示
- ・ 参加者へのアンケート



<参加者データ>

参加者数: 23名

●ワークショップ参加を通じて今後してみたいこと

回答	人数	割合
家族や知人にワークショップの内容を伝える	19人	83%
市のHPにアクセスし、これまでの検討内容を確認する	4人	17%
ワークショップで知った施設について調べてみる	3人	13%
特にない	3人	13%
その他	0人	0%

●新しい市民ホールに作ってほしいもの

回答	人数	割合
駐車場を広くしてほしい	14人	61%
子どもが遊べる空間が欲しい	8人	35%
カフェや軽食をとることができるスペースが欲しい	18人	78%
勉強や読書ができるスペースが欲しい	16人	70%
その他	3人	13%

●参加者の感想

- ・ こういう話し合いはあまり参加したことがなかったし、自ら意見を出すこともあまりなかったから、参加してよかった。(10代, 女性)
- ・ 税を出す人が減っている中、自分以外の人々がどれだけよく思うのか大事なんだって思いました。(10代, 男性)
- ・ 中高生がたくさん参加していたことが印象に残りました。色々な世代の方が、求めているもの、場所が違うことに難しさを感じました。(20代, 女性)

<ワークショップの概要>

はじめに、これまでの検討経緯を紹介すると共に、市民ホールが目指すサードプレイスについて説明がありました。次に、二部構成によるワークショップでは、三つのグループに分かれて議論を行いました。第一部ではいくつかの事業アイデアを紹介し、そのアイデアの課題や発展性について話し合いました。第二部では、具体的な事業アイデアを実施する際の諸室やその設備、雰囲気などについて議論しました。最後に参加者が主体となって発表を行い、事業アイデアのイメージを共有しました。

●各グループの議論内容

Aグループ

第一部 市内全域で文化芸術活動を推進するための事業アイデアについて議論が交わされました。実情として市域形状により、中高生が気軽に訪れるのは難しいという意見がありました。一方で、ポイント制の導入により、多くの市民の関心が高まるのではないかと意見もありました。

第二部 とまチョップポイントに関する事業アイデアをもとに議論を行いました。まず、ポイントを貯める場所として、人々が訪れやすいロビー、カフェ等に加え、SNS への投稿でポイントを貯めるアイデアが出ました。貯めたポイントは食堂や練習室、交通機関の利用にも使えると良いという意見がありました。

Bグループ

第一部 既存施設の良い部分と、今後新たにやりたいことについて意見が交わされました。中高生や市民が気軽に訪れることのできるカフェやモノづくりを応援する仕組みなどに期待が寄せられました。ホールの規模なども含め、人が集まる仕掛けへの関心がみられました。

第二部 モノづくりの場とカフェについて具体的に議論しました。世代を超えた交流や友達と一緒にいることができるよう、周りの部屋と一体的に使われ、外から活動が見える開放的な空間にしたいという意見が出ました。また、カフェはいつでも利用で気軽に入ることのできる雰囲気、他の活動とつながる情報発信の拠点となることが望まれました。

Cグループ

第一部 各学校の枠組みでは叶わないような機会や設備の提供という面で新しい施設への期待が寄せられました。また、異分野に関心のある市民同士が集う施設において、専門性の確保と共用、共有する意識の双方が必要になることが指摘されました。

第二部 子どもの活動を支える事業に対し、仕切りを自由に移動できる多目的室や、多くの人が集まって意見を言い合える場所などの必要性が挙げられました。また、通りがかった人が関心を持つような部屋のつくり方の提案がありました。更に、食堂、トイレなど施設全体での情報発信の可能性が見出されました。



議論の様子



発表の様子



集合写真